

1. 学習の到達目標等

到達目標	様々な文章に触れ、表現の世界への理解を深める。 口語文法を正確に理解し、古典文法にも活かせるようにする。
目標を達成するための留意点	授業を大切にするを基本とし、必要な物を準備し、主体的に授業に参加する姿勢を付ける。 授業中は、教師の説明や指示を注意深く聞き、またグループ学習において、他者の意見を聴き、自分の考えを伝えることが出来る力を身につける。ノートは板書や教師の説明等を、丁寧な字で確実に書くようにし、復習時に要点が理解できるものを作る。 家庭学習において、授業時に出された課題等に丁寧取り組み、復習をする習慣を身に着ける。
使用教科書	『国語 1』（光村出版）『新しい書写一・二・三年』（東京書籍）
使用副教材	『実力練成テキスト 国語 1 年』（文理）『常用漢字クリア』（尚文出版） 『新国語便覧』（第一学習社）『論理エンジン O S 1』（水王舎）
評価基準	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の観点に基づき、小テスト及び中間・期末テスト・提出物・授業に対する姿勢などを総合的に判断して評価する。
学習内容	言語知識 ・ 常用漢字の習得 文法 ・ 文節相互の関係、文の成分を学習する。 単なる知識ではなく、文章を読む上で、学んだ文法知識を活用することが出来るよう取り組む。 口語文法が文語文法の基礎となるということをしっかりと意識出来るようになる。 詩歌 ・ 詩や和歌の特徴をとらえ、言葉の感覚を豊かにする。 文学的文章 ・ 表現に注意し、情景や心情をとらえる。 ・ 作品の展開をとらえ、状況や人間関係を理解する。 説明的文章 ・ 文相の構成や要旨をとらえ、目的や必要に応じて要約する。 ・ 事実と意見を区別し、筆者のものの見方や考え方を理解する。 古文 ・ 言葉や仮名遣いなどの違いをとらえ、比較的馴染みのある文章を通じて、古典の文章に親しむ。

2. 指導計画

[illegible]

教科	科目	単位数	対象学年
社会	地理・歴史	3	1

1. 学習の到達目標等

到達目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、倭が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
目標を達成するための留意点	知識に偏りすぎた指導にならないように、基本的な事項・事柄を厳選して指導内容を構成していく。生徒の主体的な学習を促し、課題を解決する能力を一層培うため、各分野において、適切な課題を設けて行う学習の充実を図る。社会的事象の特色や事象間の関連を説明する学習を通して、言語活動の充実を図る。資料を選択し活用する学習活動を重視するとともに作業的、体験的な学習の充実を図る。その際、情報モラルの指導にも配慮する。教育基本法第14条及び第15条の規定に基づき、政治及び宗教に関する教育を行う。
使用教科書	中学校の地理（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院） 中学歴史 日本と世界（山川出版社）
使用副教材	・アクティブ地理 総合（浜島書店） ・基礎をきずく地理① 帝国書院版（浜島書店） ・中学歴史 日本と世界ノート改訂版（山川出版社）
評価基準	知識・技能／思考力・判断力・表現力／主体的に学習に取り組む態度 それぞれの項目に関して、授業・定期考査・課題等を通して総合的に評価する。
学習内容	[地理] 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 1節 アジア州 2節 ヨーロッパ州 3節 アフリカ州 4節 北アメリカ州 5節 南アメリカ州 6節 オセアニア州 [歴史] 第1章 歴史との対話 1節 私たちと歴史 2節 身近な地域を調べよう 第2章 古代までの日本 1節 世界の諸文明 2節 日本文化のあけぼの 3節 律令国家の形成 4節 貴族政治と国風文化 第3章 中世の日本 1節 中世社会の成立 2節 武家社会の成長 第4章 近世の日本 1節 一体化へ向かう世界 2節 近世社会の成立

2. 指導計画

[illegible]

教科	科目	単位数	対象学年
理科	理科①	1	1 年

1. 学習の到達目標等

到達目標	観察，実験を行い，観察・実験技能を習得させ，観察，実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに，基本事項をよく理解し，事物・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。
目標を達成するための留意点	知識獲得を最終目的とするのではなく，獲得した知識を活用し，考察することに意識を向けさせるように指導する。
使用教科書	「未来へひろがるサイエンス 1」（啓林館） 「未来へひろがるサイエンス 2」（啓林館）
使用副教材	「中学実力練成テキスト 1 年」（文理） 「中学実力練成テキスト 2 年」（文理）
評価基準	行動観察，発言，発表，自己評価，レポート，ワークシート・小テスト・定期テストなど
学習内容	1．エネルギーを音・光・力などの観察を通して，さまざまな事物・現象をエネルギーを通して理解させ，エネルギーについての認識を深める。 2．回路の基本的性質や、電圧と電流との関係について規則性を見出させる。 3．静電気と電流には関係があることを見出させ、電流の正体について理解させる。 4．電気の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させる。

2. 指導計画

		4月	5月		6月		7月	8月	9月	10月		11月		12月	1月	2月		3月
光・音・力による現象	光による現象			学 期 中 間 考 査		学 期 期 末 考 査					学 期 中 間 考 査		学 期 期 末 考 査				学 年 末 考 査	
	音による現象																	
	力による現象																	
電流とその利用	電流の性質			学 期 中 間 考 査		学 期 期 末 考 査					学 期 中 間 考 査		学 期 期 末 考 査				学 年 末 考 査	
	電流の正体																	
	電流と磁界																	

1. 学習の到達目標等

2. 指導計画

[illegible]

1. 学習の到達目標等

2. 指導計画

[illegible]

1. 学習の到達目標等

2. 指導計画

[illegible]

1. 学習の到達目標等

2. 指導計画

[illegible]

1. 学習の到達目標等

2. 指導計画

[illegible]